

明けましておめでとうございます。本年もどうかよろしくお願ひ申し上げます。

久しぶりの編集後記ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか？

今も続くロシア-ウクライナ戦争、それに伴った物価上昇、特に電気代の値上がりへの対応は困難を極めているのではないのでしょうか？

さて、今回の特集テーマは「脊椎の動きと神経の立ち振る舞い」で、谷 論先生から提案されました。脊椎と脊髄神経は解剖学的に密接な関係にあることはいまでもありませんが、神経症候の病態を考えるうえで脊椎の動きとそれに対応した神経の動きを知ることは最も重要でありましょう。以前はミエログラムを応用した脊椎脊髄機能撮像で動的評価を行っていましたが、MRI や CT 画像の進歩によって静的な画像診断は格段によくなり、MRI ミエロやシネ MRI など動的な画像評価も可能となってきました。皆さんもご存知だと思いますが、flexion myelopathy はその典型ではないでしょうか。

どの撮像が病態の理解、そして診断に有効かは医師の判断によりますが、解剖学から得られる脊椎の可動性、それに伴った脊髄神経の振る舞い、動きは理解しておく必要があります。この重要でピットフォールになりがちな「脊椎の動きと神経の立ち振る舞い」をテーマに挙げられた特集は、読者にとって必ずや大きな感激を与えてくれると確信しております。

コロナ感染拡大は終息どころか勢いを増し、10万人を超える患者さんが毎日感染しており、受け入れ病院は疲弊しきっています。そんなわれわれに寄せられた心温まる手紙が届きました。感謝の気持ちがこもった中学生の方々からのお手紙です。「ありがとう。最前線でコロナウイルスと闘う皆様へ最大限の感謝を送ります」「不安定な社会情勢の中、市民のため、日本のために尽くしてください本当にありがとうございます」「医療の最前線で働いている皆様、日夜問わず尽くしてくださいありがとうございます。私たちにできることは少なく小さいことかもしれませんが、一つ一つ頑張っていきます。応援しています」「どんなひどい雨でも必ずやんで綺麗な虹へと変わります」。

皆さんからいただいた多くの感謝の気持ちは、われわれ医療者を元気にしてくれ、また活力を与えてくれます。こんなときいつも私が思い浮かべる言葉があります。それは「一陽来復」です。これは松下幸之助さんの大切にされた言葉です。「窮地に立つということは、身をもって知る尊いチャンスではあるまいか。得難い体得の機会ではあるまいか。そう考えれば、苦しい中にも勇気が出る。元気が出る。思い直した心の中に新しい知恵が湧いて出る。そして、禍を転じて福となす、つまり一陽来復。暗雲に一筋の光が差し込んで、再び春を迎える力強い再出発への道が開けてくる」。

全国の医療者の皆さん、われわれもこのコロナ禍、難局を力強い想いと心意気で切り抜けていきましょう。

(松山幸弘)

脊椎脊髄ジャーナル

編集顧問

萬年 徹 金田清志 小山素磨
小柳知彦 田代邦雄 国分正一
服部孝道

編集委員

山崎正志 (編集委員長)
金 彪 (副編集委員長)
亀山 隆 園生雅弘 高橋敏行
谷 論 筑田博隆 永島英樹
中村雅也 根尾昌志 原 政人
飛驒一利 堀 正明 松山幸弘

Vol. 35 No. 8
(2023 年 1 月 31 日発行)

毎月 1 回 25 日発行

1 部定価 (本体 2,500 円 + 税)
(配送料別)

年ぎめ予約購読料 33,300 円 + 税
送料弊社負担

発行/株式会社 三輪書店
代表者 青山 智

〒113-0033
東京都文京区本郷 6-17-9

本郷網ビル
TEL 03-3816-7796
FAX 03-3816-7756
URL <http://www.miwapubl.com/>
(担当: 山岸)

印刷所/三報社印刷株式会社
TEL 03-3637-0005

広告申込所/
(株)文栄社
TEL 03-3814-8541
(株)ハイブリッジエージェンシー
TEL 03-3814-0089

本誌の内容の無断複写・複製・転載は著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.
6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, TOKYO © 2023,
Printed in Japan

JCOPY (出版者著作権管理機構 委託出版物)
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前
に、出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088,
FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の
許諾を得てください。